

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第87期第2四半期(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)
【会社名】	昭和化学工業株式会社
【英訳名】	Showa Chemical Industry Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 石橋 健藏
【本店の所在の場所】	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号(目黒山手通ビル)
【電話番号】	03(3494)0491番
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 堀内 稔
【最寄りの連絡場所】	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号(目黒山手通ビル)
【電話番号】	03(3494)0491番
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 堀内 稔
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) 昭和化学工業株式会社大阪支店 (大阪市北区堂山町1番5号(三共梅田ビル))

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第86期 第2四半期連結 累計期間	第87期 第2四半期連結 累計期間	第86期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高(千円)	3,869,110	4,063,653	7,214,449
経常利益(千円)	127,507	138,345	217,680
四半期(当期)純利益(千円)	56,739	51,808	88,198
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,928	216,301	269,626
純資産額(千円)	2,537,764	2,967,326	2,801,829
総資産額(千円)	10,391,910	10,960,167	10,107,521
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.48	5.00	8.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	24.5	27.1	27.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	42,417	182,280	255,891
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	65,084	131,578	321,393
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	223,044	39,637	91,963
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,344,882	1,344,732	1,255,965

回次	第86期 第2四半期連結 会計期間	第87期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	2.10	0.90

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済・金融政策の効果などにより、緩やかな回復が続いているものの、輸入燃料価格上昇や新興国経済減速などの影響もあり、予断を許さない状況が続いております。

当業界におきましては、燃料価格高騰による製造原価上昇などにより、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような中、当社グループ（当社ならびに連結子会社及び持分法適用会社）は、売上目標達成のため積極的な拡販活動を展開すると同時に、全社規模でのコストダウンに尽力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高40億63百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益1億38百万円（同8.5%増）、四半期純利益51百万円（同8.7%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントのため、製品別の業績を記載すると次のとおりであります。

濾過助剤

当期間におきましては、清涼飲料及び甘味料向け製品の売上が増加しましたが、化学工業向け製品の売上が減少しました。この結果、売上高は22億18百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

建材・充填剤

当期間におきましては、住宅用建材及び土木工事事業向け製品の売上が増加しました。この結果、売上高は7億5百万円（同11.1%増）となりました。

化成品

当期間におきましては、プール用塩素剤の売上が微増となりました。この結果、売上高は8億86百万円（同2.9%増）となりました。

その他の製品

当期間におきましては、塩素自動供給機その他、スポットで発生する機器などの納入が売上に貢献しました。この結果、売上高は2億53百万円（同8.2%増）となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より88百万円増加し、13億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億82百万円（前年同期は42百万円の支出）となり、前年同期と比べると2億24百万円の収入の増加となりました。

これは、主に売上債権の増加額の減少2億71百万円、法人税等の支払額の減少1億1百万円に対し、仕入債務の増加額の減少1億48百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億31百万円(前年同期は65百万円の支出)となり、前年同期と比べると66百万円の支出の増加となりました。

これは、主に定期預金の預入による支出の増加1億35百万円に対し、定期預金の払戻による収入の増加85百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、39百万円(前年同期は2億23百万円の収入)となり、前年同期と比べると1億83百万円の収入の減少となりました。

これは、主に短期借入金の純増減額の減少2億1百万円、社債の償還による支出の増加1億90百万円、社債の発行による収入の減少97百万円に対し、長期借入金の借入れによる収入の増加3億円があったことによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動費は47百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があったものは次のとおりであります。

なお、下記金額に消費税等は含んでおりません。

実施を次年度以降に延期した案件

提出会社

事業所 (所在地)	平成25年3月末投資予定金額		設備の主な内容	実施時期
	総額(千円)	既支払額 (千円)		
鶴岡事業所 (山形県鶴岡市)	13,000	-	製品倉庫設備	次年度以降未定

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,979,000	11,979,000	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	11,979,000	11,979,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	11,979,000	-	598,950	-	527,529

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
シグマ株式会社	東京都港区白金台3丁目5番17号	1,938	16.2
石橋 俊一郎	東京都目黒区	1,140	9.5
財団法人石橋奨学会	福岡県福岡市博多区中呉服町2番1号	1,000	8.3
朝日生命保険相互会社	東京都千代田区大手町2丁目6番1号	770	6.4
白山工業株式会社	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号	486	4.1
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	420	3.5
東興パーライト工業株式会社	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号	392	3.3
石橋 健藏	東京都港区	357	3.0
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号	331	2.8
北沢産業株式会社	東京都渋谷区東2丁目23番10号	255	2.1
計	-	7,089	59.2

(注) 1. 上記のほか、自己株式が982千株あります。

2. 上記所有株式の他、平成25年10月31日現在の役員持株会での持分として、石橋俊一郎が4,161株、石橋健藏が6,666株を所有しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,860,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,065,000	10,065	-
単元未満株式	普通株式 54,000	-	-
発行済株式総数	11,979,000	-	-
総株主の議決権	-	10,065	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式854株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
昭和化学工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	982,000	-	982,000	8.2
白山工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	486,000	-	486,000	4.1
東興パーライト工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	392,000	-	392,000	3.3
計	-	1,860,000	-	1,860,000	15.5

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,692,063	1,715,960
受取手形及び売掛金	2,288,898	2,626,195
商品及び製品	277,697	286,112
仕掛品	384,754	401,854
原材料及び貯蔵品	132,683	136,209
繰延税金資産	25,813	30,664
その他	39,021	77,735
貸倒引当金	1,358	2,318
流動資産合計	4,839,572	5,272,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	932,682	992,387
機械装置及び運搬具(純額)	395,596	594,512
土地及び原料用地(純額)	838,100	829,137
その他(純額)	810,099	746,755
有形固定資産合計	2,976,479	3,162,792
無形固定資産		
のれん	² 5,657	² 4,001
その他	43,570	34,782
無形固定資産合計	49,227	38,783
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,290	1,850,203
長期貸付金	78,750	77,880
繰延税金資産	163,808	120,574
その他	468,993	548,863
貸倒引当金	109,602	111,344
投資その他の資産合計	2,242,240	2,486,177
固定資産合計	5,267,948	5,687,754
資産合計	10,107,521	10,960,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	781,409	1,061,861
短期借入金	2,490,307	2,287,447
1年内返済予定の長期借入金	443,438	476,090
1年内償還予定の社債	460,000	370,000
未払法人税等	41,026	97,040
賞与引当金	42,728	46,769
設備関係支払手形	42,310	273,861
その他	259,036	270,897
流動負債合計	4,560,257	4,883,968
固定負債		
社債	670,000	840,000
長期借入金	685,046	912,392
退職給付引当金	771,680	781,182
役員退職慰労引当金	394,219	392,854
繰延税金負債	32,401	46,875
その他	192,087	135,568
固定負債合計	2,745,434	3,108,873
負債合計	7,305,691	7,992,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,950	598,950
資本剰余金	621,930	621,930
利益剰余金	1,859,067	1,860,281
自己株式	504,699	504,909
株主資本合計	2,575,248	2,576,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230,470	358,899
土地再評価差額金	12,129	12,129
為替換算調整勘定	18,531	48,911
その他の包括利益累計額合計	236,873	395,682
少数株主持分	10,291	4,607
純資産合計	2,801,829	2,967,326
負債純資産合計	10,107,521	10,960,167

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,869,110	4,063,653
売上原価	2,662,593	2,830,998
売上総利益	1,206,517	1,232,655
販売費及び一般管理費	¹ 1,064,904	¹ 1,084,578
営業利益	141,612	148,076
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,391	18,088
固定資産賃貸料	20,228	23,392
持分法による投資利益	2,920	-
その他	6,260	10,379
営業外収益合計	43,800	51,860
営業外費用		
支払利息	33,893	33,511
持分法による投資損失	-	7,305
その他	24,012	20,773
営業外費用合計	57,905	61,591
経常利益	127,507	138,345
特別利益		
固定資産売却益	-	314
投資有価証券売却益	-	2,069
受取保険金	25,211	4,486
特別利益合計	25,211	6,869
特別損失		
災害による損失	1,175	4,605
固定資産除却損	6,290	2,851
特別損失合計	7,466	7,456
税金等調整前四半期純利益	145,252	137,759
法人税、住民税及び事業税	74,143	90,822
法人税等調整額	9,863	10,445
法人税等合計	84,006	80,377
少数株主損益調整前四半期純利益	61,245	57,382
少数株主利益	4,505	5,574
四半期純利益	56,739	51,808

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,245	57,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,816	125,497
為替換算調整勘定	738	1,573
持分法適用会社に対する持分相当額	11,239	34,993
その他の包括利益合計	56,317	158,918
四半期包括利益	4,928	216,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	210,617
少数株主に係る四半期包括利益	4,900	5,683

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	145,252	137,759
減価償却費	125,901	131,233
のれん償却額	1,655	1,655
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,330	2,702
賞与引当金の増減額(は減少)	3,872	4,040
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,294	9,501
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,153	1,364
受取利息及び受取配当金	14,391	18,088
支払利息	33,893	33,511
投資有価証券売却損益(は益)	-	2,069
持分法による投資損益(は益)	2,920	7,305
有形固定資産除却損	6,290	2,851
有形固定資産売却損益(は益)	-	314
売上債権の増減額(は増加)	608,690	337,296
たな卸資産の増減額(は増加)	50,859	29,041
仕入債務の増減額(は減少)	428,945	280,451
その他	19,966	722
小計	101,694	223,560
利息及び配当金の受取額	21,476	25,186
利息の支払額	33,035	35,868
法人税等の支払額	132,553	30,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,417	182,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	278,507	414,000
定期預金の払戻による収入	328,477	413,869
有形固定資産の取得による支出	93,850	77,261
有形固定資産の売却による収入	-	314
投資有価証券の取得による支出	699	1,575
投資有価証券の売却による収入	-	3,150
その他	20,504	56,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	65,084	131,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,452	202,860
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	246,276	240,002
社債の発行による収入	490,406	393,365
社債の償還による支出	130,000	320,000
リース債務の返済による支出	38,826	40,062
自己株式の取得による支出	208	210
配当金の支払額	50,598	50,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	223,044	39,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	738	1,573
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	116,280	88,766
現金及び現金同等物の期首残高	1,201,907	1,255,965
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26,695	-

現金及び現金同等物の四半期末残高	1	1,344,882	1	1,344,732
------------------	---	-----------	---	-----------

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	74,464千円	76,384千円

2 のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
のれん	8,560千円	5,937千円
負ののれん	2,903千円	1,935千円
差引	5,657千円	4,001千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
発送費	342,294千円	372,171千円
貸倒引当金繰入額	1,199千円	180千円
賞与引当金繰入額	24,841千円	24,993千円
退職給付費用	17,404千円	17,266千円
役員退職慰労引当金繰入額	2,153千円	647千円
減価償却費	13,469千円	13,861千円
のれん償却額	1,655千円	1,655千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,781,132千円	1,715,960千円
預入期間が3か月を超える定期預金	436,249千円	371,228千円
現金及び現金同等物	1,344,882千円	1,344,732千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,988	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい移動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	54,983	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい移動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円48銭	5円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	56,739	51,808
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	56,739	51,808
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,360	10,359

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

昭和化学工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員 公認会計士 久具 壽男 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 渡邊 考志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和化学工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。